

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場会社名 サトーホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6287 URL http://www.sato.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 松山一雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 櫛田晃裕 TEL 03-6665-0639

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	j	営業利:	益	経常利	益	四半期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	22, 619	6. 7	1, 292	21.0	1, 425	99. 4	845	276. 6
25年3月期第1四半期	21, 208	8. 3	1, 068	18. 1	714	△10.4	224	△52.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,395百万円 (一%) 25年3月期第1四半期 △755百万円 (一%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	28. 10	25. 23
25年3月期第1四半期	7. 46	6. 79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	79, 013	40, 998	51. 7	1, 356. 98
25年3月期	77, 521	40, 205	51. 7	1, 330. 77

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 40,857百万円 25年3月期 40,068百万円

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭
25年3月期	_	17. 00	_	20. 00	37. 00
26年3月期	_				
26年3月期(予想)		18. 00	-	19. 00	37. 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	钊益	当期純	利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47, 500	11. 3	3, 000	25. 5	3, 100	70. 4	1, 800	146.8	59. 78
通期	96, 000	10.0	6, 500	19. 2	6, 500	19. 7	3, 700	35. 7	122. 89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無 新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	32,001,169株	25年3月期	32,001,169株
26年3月期1Q	1, 892, 220株	25年3月期	1, 891, 989株
26年3月期1Q	30, 109, 045株	25年3月期1Q	30, 109, 900株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料の4ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1)四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、米国では、個人消費や住宅投資など堅調に推移しましたが、欧州では、輸出回復の遅れや雇用情勢の悪化による消費控えなどの影響により引き続きマイナス成長となりました。アジアでは、中国をはじめ新興国の経済成長の鈍化がみられるなど、総じて厳しい状況が続きました。国内においては、経済対策と金融政策による期待感から円安・株高が進み明るい兆しが見え始めましたが、世界経済減速の影響もあり依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、「グローバル化と顧客価値の最大化を追求する」ことを基本戦略に、持続可能な成長力と収益基盤を確立することを経営目標に掲げ、以下の諸施策を実行中です。

- ① 日本の事業部制の成功を国別に移植
- ② 新興国成長市場の開拓
- ③ 高収益サプライ事業の確立
- ④ 収益力強化(事業、用途、製品、コスト)
- ⑤ 全体最適化(IT、SCM、財務、人財育成)
- ⑥ 環境保全ビジネスの本業化

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22,619百万円(前年同期比106.7%)、営業利益1,292百万円(同121.0%)、経常利益1,425百万円(同199.4%)、四半期純利益845百万円(同376.6%)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

<日本>

当第1四半期連結累計期間においては、製造業を中心に設備投資需要に減速傾向がみられ、電子プリンタを中心とするメカトロ製品の引き合いが弱く、また、サプライ製品につきましても、製造業や食品加工業を中心に力強さに欠けるなど、消費活動全般が企業の生産活動を押し上げるには至っていない状況です。

しかしながら、経済対策によるデフレ脱却と景気回復への期待から、景況感改善の兆しが見られるようになり、これら需要を掘り起こす積極的な営業活動を展開した結果、用途開拓の成果が徐々に顕在化してきております。今後一層コストダウンへの取り組みを強化するとともに、成長市場の開拓や用途提案による新たな需要開拓を進め、事業拡大に向けた営業活動を強化してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は15,707百万円(前年同期比99.2%)、営業利益867百万円(同96.6%)となりました。

<米州>

北米市場においては、OEM向け食材の消費期限管理システムや大手ドラッグチェーン向けの大口商談が始まり 実績に結びついたほか、アパレル向けのプリンタ需要等の引き合いが継続するなど、堅調に推移いたしました。また、南米市場においては、シール・ラベル製品の製造販売を手掛けるACHERNAR社(アルゼンチン)の業績も寄与いたしました。

これらの取り組みにより、売上高は2,296百万円(前年同期比126.4% [為替影響を除く前年同期比102.6%])、営業利益122百万円(同129.3%)となりました。

<欧州>

欧州経済低迷のなか、各国でベースビジネスであるシール・ラベル製品の販路開拓を着実に進め、採算性を重視した販売政策を推進してまいりました。また、ラベル生産体制の見直しによる低コストでの生産供給体制の確立など、これまでの構造改革の成果が表れてきたことや、シール・ラベル製品の事業拡大に合わせる形で印刷設備の更新、増強を進めるなど、安定的な事業基盤の確立と収益力向上への施策を強化しております。これら施策により、当第1四半期連結会計期間では欧州全体で5年振りに営業黒字化が実現でき、懸案であった収益体質への転換を成し遂げることができました。

なお、当第2四半期連結累計期間からは、スペインにおける事業形態を販売機能に絞り、固定費を圧縮してマドリッドで営業継続するなど、今後さらに安定的な収益力を確保してまいります。

これらの取り組みにより、売上高1,728百万円(前年同期比133.5% [為替影響を除く前年同期比107.9%])、営業利益29百万円(前年同期は営業損失48百万円)となりました。

<アジア・オセアニア>

アジア市場は、中国をはじめ新興国の経済成長のペースが鈍化していることから、力強さに欠ける状況ですが、 前年度下期に営業を開始したインドネシア及びベトナムの売上が新たに加わり前年同期を上回りました。

アジアの新興国では、最低賃金の上昇や中間所得層の拡大を背景に需要の拡大が見込まれます。日系企業のアジアシフトへの動きや、安心・安全への需要が拡大する傾向から、「ヘルスケア、自動車、運輸・物流、総合スーパー・コンビニ」の4業種についてはキーアカウントを設定するとともに、日本に専任チームを設け支援を強化しているところです。

また、ARGOX社(台湾)との連携を通じ、相互の販売チャネルを活用した製品供給を開始するなど、新興国市場開拓のスピードを上げ競争優位性を確立してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は2,887百万円(前年同期比127.7% [為替影響を除く前年同期比103.7%])、営業利益263百万円(同172.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、79,013百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,491百万円の増加となりました。その主な要因は、たな卸資産、投資有価証券の増加等によるものです。なお純資産は、配当金の支払いを行った一方、為替換算調整勘定が増加したことなどにより793百万円増加し、40,998百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、11,504百万円となり、前連結会計年度末と比較して487百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,005百万円の増加(前年同四半期は1,041百万円の減少)となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益1,416百万円、減価償却費503百万円、売上債権の減少額618百万円及び未払金の増加額513百万円等であり、主なマイナス要因は前払費用の増加額828百万円、仕入債務の減少額523百万円及び法人税等の支払額304百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,790百万円(前年同期比282.4%)となりました。

主な要因は、投資有価証券の取得による支出976百万円及び有形固定資産の取得による支出588百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは872百万円の減少(前年同期比50.2%)となりました。

主な要因は、配当金の支払額563百万円及び長期借入金の返済による支出168百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間において、円安の進行にともなう為替差益を計上したことにより、経常利益及び当期純利益は、前回発表の業績予想を上回る見込みです。

第2四半期連結累計期間の業績予想

売上高
47,500百万円(前回予想 47,500百万円)
営業利益
3,000百万円(同 3,000百万円)
経常利益
3,100百万円(同 2,900百万円)
当期純利益
1,800百万円(同 1,700百万円)

通期の連結業績予想

売上高
96,000百万円(前回予想96,000百万円)
営業利益
6,500百万円(同6,500百万円)
経常利益
3,700百万円(同3,600百万円)
3,600百万円)

なお、前提となる期中平均為替レートは、1米ドル95円、1ユーロ125円を想定しており、期初の想定を変更しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
 資産の部	(十成23年3月31日)	(十)从25年 0 月 30日)
意度が可 流動資産		
現金及び預金	12, 577	12, 156
受取手形及び売掛金	20, 942	20, 532
有価証券	93	164
商品及び製品	6, 632	6, 945
仕掛品	190	268
原材料及び貯蔵品	1, 858	1, 942
未収還付法人税等	1,035	1,037
その他	3, 446	4, 269
貸倒引当金	△86	△87
流動資産合計	46, 690	47, 230
固定資産		
有形固定資産		
土地	7, 657	7, 63
その他(純額)	11, 037	11, 458
有形固定資産合計	18, 694	19, 09
無形固定資産		
のれん	4, 774	4, 728
その他	1, 825	1, 842
無形固定資産合計	6, 600	6, 57
投資その他の資産	5, 536	6, 11'
固定資産合計	30, 831	31, 78
資産合計	77, 521	79, 013
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5, 180	4, 699
短期借入金	3, 954	3, 810
未払金	13, 372	13, 913
未払法人税等	478	529
引当金	231	28'
その他	4, 187	4, 75
流動負債合計	27, 405	27, 989
固定負債		
新株予約権付社債	5, 000	5, 000
長期借入金	1, 041	1, 041
退職給付引当金	1, 324	1, 320
その他	2, 545	2, 664
固定負債合計	9, 911	10, 026
負債合計	37, 316	38, 015

		()//II
		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6, 331	6, 331
資本剰余金	5, 799	5, 799
利益剰余金	30, 577	30, 820
自己株式	△3, 460	△3, 460
株主資本合計	39, 247	39, 490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 0$	9
為替換算調整勘定	820	1, 357
その他の包括利益累計額合計	821	1, 366
少数株主持分	136	141
純資産合計	40, 205	40, 998
負債純資産合計	77, 521	79, 013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(第1四半期連結累計期間)		(光件 云云田)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	(単位:百万円) 当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	21, 208	22, 619
売上原価	12, 378	12, 963
売上総利益	8, 829	9, 655
販売費及び一般管理費	7, 761	8, 362
営業利益	1,068	1, 292
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	0	0
為替差益	_	110
受取賃貸料	33	39
その他		29
営業外収益合計	66	193
営業外費用		
支払利息	30	31
為替差損	351	- 10
売上割引 その他	8 28	12 17
	420	60
営業外費用合計		
経常利益	714	1, 425
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	10
特別損失合計	0	10
税金等調整前四半期純利益	715	1, 416
法人税、住民税及び事業税	108	344
法人税等調整額		223
法人税等合計	490	568
少数株主損益調整前四半期純利益	225	847
少数株主利益	0	1
四半期純利益	224	845

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	225	847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	8
為替換算調整勘定	△980	539
その他の包括利益合計	△980	547
四半期包括利益	△755	1, 395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△755	1, 391
少数株主に係る四半期包括利益	0	4

(単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー		至 平成25年6月30日)
税金等調整前四半期純利益	715	1, 416
減価償却費	469	503
のれん償却額	203	241
固定資産売却損益(△は益)	$\triangle 1$	8
固定資産除却損	0	0
引当金の増減額(△は減少)	△16	53
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 9$	34
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17	$\triangle 19$
受取利息及び受取配当金	△11	△14
支払利息	30	31
為替差損益(△は益)	△48	△162
売上債権の増減額(△は増加)	△103	618
たな卸資産の増減額(△は増加)	147	△285
前払費用の増減額(△は増加)	△714	△828
仕入債務の増減額(△は減少)	43	△523
未払金の増減額(△は減少)	286	513
その他	△27	758
小計	982	2, 345
利息及び配当金の受取額	11	12
利息の支払額	△31	△28
事業再編による支出	_	△21
法人税等の支払額	△2, 004	△304
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1, 041	2, 005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△202	△139
定期預金の払戻による収入	27	29
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 0$	△976
有形固定資産の取得による支出	△258	△588
有形固定資産の売却による収入	14	32
無形固定資産の取得による支出	△91	△193
その他	42	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△468	△1, 790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6, 016	3
長期借入金の返済による支出	△171	△168
新株予約権付社債の発行による収入	5, 000	-
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	△0
配当金の支払額	△500	△563
その他	△62	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,750	△872
現金及び現金同等物に係る換算差額	△260	169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3, 521	△487
現金及び現金同等物の期首残高	11, 377	11, 992
現金及び現金同等物の四半期末残高	7, 856	11, 504
元亚从U·元亚川守彻以四十别不没同 ————————————————————————————————————	1,000	11, 004

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	15, 836	1, 817	1, 294	2, 260	21, 208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	970	13	65	1, 250	2, 298
1111111	16, 806	1,830	1, 359	3, 511	23, 506
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	898	95	△48	152	1, 097

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,097
セグメント間取引消去	6
のれんの償却額	△10
棚卸資産の調整額	△24
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,068

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	15, 707	2, 296	1, 728	2, 887	22, 619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1, 296	28	75	1, 751	3, 153
計	17, 003	2, 324	1, 803	4, 639	25, 772
セグメント利益	867	122	29	263	1, 283

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1, 283
セグメント間取引消去	1
のれんの償却額	△13
棚卸資産の調整額	23
その他の調整額	$\triangle 2$
四半期連結損益計算書の営業利益	1, 292

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。